

レジメン名称 (FOLFIRI + アービタックス (隔週) q2w) 大腸癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 2 週間 Day 1 8 15 (=Day1)
アービタックス	500 mg/m ²	↓
イリノテカン	150 mg/m ²	↓
レボホリナート	200 mg/m ²	↓
フルオロウラシル bolus	400 mg/m ²	↓
フルオロウラシル 持続	2400 mg/m ²	↓ 1 日目から 46 時間持続投与

レジメンオーダー以外に必要な処方

皮膚障害予防：ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%（ヒルドイドソフト） 2 本 1 日数回

血清 Mg 測定（3 ヶ月に 1 回以上）

必要時（制吐剤予防投与）：day2～：デキサメタゾン（デカドロン）4～8mg 1×朝 2 日間 内服

注意事項

アービタックス：インフージョンリアクション（気管支痙攣，蕁麻疹，低血圧，意識消失，ショックなど）に注意。

1 回目：投与時に心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり（詳細は投与方法の項を参照）

(次ページあり)

投与方法：1日目～			
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たし、メインルートを止める		
2	ボララミン注 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ゆっくり、下の側管から投与		
3	グラニセトロン 3mg/100mL、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴、下の側管から投与		
4	<u>アービタックス</u> mg, 生食、<u>全量 500 mL</u> 120 分かけて点滴、下の側管から投与 <u>初回のみ下記を実施</u> <u>心電図モニター</u> <u>投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定</u> <u>投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、搔痒感、気分不良、嘔気）</u>		
5	生食 100mL、ゆっくり 下の側管から投与 経過観察 初回 60 分、2 回目 30 分、3 回目以降 15 分間		
6	<table border="1"> <tr> <td> <u>レボホリナート</u> mg, 生食 500mL <u>120 分</u>かけて点滴、 <u>イリノテカンと同時に開始</u>、下の側管から投与 </td><td> <u>イリノテカン</u> mg, 生食 250mL <u>90 分</u>かけて点滴、 <u>レボホリナートと同時に開始</u>、 ケモセーフロックのルートから投与 (イリノテカンは 90 分投与のため、先に終わります) </td></tr> </table>	<u>レボホリナート</u> mg, 生食 500mL <u>120 分</u>かけて点滴、 <u>イリノテカンと同時に開始</u>、下の側管から投与	<u>イリノテカン</u> mg, 生食 250mL <u>90 分</u>かけて点滴、 <u>レボホリナートと同時に開始</u>、 ケモセーフロックのルートから投与 (イリノテカンは 90 分投与のため、先に終わります)
<u>レボホリナート</u> mg, 生食 500mL <u>120 分</u>かけて点滴、 <u>イリノテカンと同時に開始</u>、下の側管から投与	<u>イリノテカン</u> mg, 生食 250mL <u>90 分</u>かけて点滴、 <u>レボホリナートと同時に開始</u>、 ケモセーフロックのルートから投与 (イリノテカンは 90 分投与のため、先に終わります)		
7	<u>フルオロウラシル</u> mg, 生食 40mL 全開で投与、ケモセーフロックのルートから投与		
8	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄		
9	<u>フルオロウラシル</u> mg, 生食、全量 210mL 5 mL/時、46 時間かけて ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与		